

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年9月9日(2010.9.9)

【公開番号】特開2008-69147(P2008-69147A)

【公開日】平成20年3月27日(2008.3.27)

【年通号数】公開・登録公報2008-012

【出願番号】特願2007-216914(P2007-216914)

【国際特許分類】

C 0 7 C 17/25 (2006.01)

C 0 7 C 17/383 (2006.01)

C 0 7 C 21/18 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 17/25

C 0 7 C 17/383

C 0 7 C 21/18

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成22年7月27日(2010.7.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

トランス - 1, 3, 3, 3 - テトラフルオロプロペンの製造のための方法であって、  
 (a) 1, 1, 1, 3, 3 - ペンタフルオロプロパンを脱弗化水素化し、よってシス - 1, 3, 3, 3 - テトラフルオロプロペンとトランス - 1, 3, 3, 3 - テトラフルオロプロペンと弗化水素を含む結果物をもたらす工程と、  
 (b) 場合によって、弗化水素を工程 (a) の結果物から回収する工程と、  
 (c) シス - 1, 3, 3, 3 - テトラフルオロプロペンの少なくとも1部をトランス - 1, 3, 3, 3 - テトラフルオロプロペンに異性化する工程と、  
 (d) トランス - 1, 3, 3, 3 - テトラフルオロプロペンを回収する工程と、  
 を含む方法。

【請求項2】

工程 (d) の後にシス - 1, 3, 3, 3 - テトラフルオロプロペンまたはシス - 1, 3, 3, 3 - テトラフルオロプロペンと1, 1, 1, 3, 3 - ペンタフルオロプロパンの混合物を回収する後続工程と、シス - 1, 3, 3, 3 - テトラフルオロプロペンまたはシス - 1, 3, 3, 3 - テトラフルオロプロペンと1, 1, 1, 3, 3 - ペンタフルオロプロパンの混合物を工程 (a) または工程 (a) と (c) に再循環して戻す後続工程を更に含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

工程 (b) を行う、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

工程 (a) と (c) を独立して行う、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

工程 (a) と (c) を組み合わせ、単一プロセス工程として行う、請求項1に記載の方

法。

【請求項 6】

工程 (d) を工程 (c) の後に行う、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

工程 (d) を工程 (a) の後であるが工程 (c) の前に行う、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

工程 (d) を工程 (a) の後であるが工程 (c) の前に行い、その後、工程 (d) を工程 (c) の後に繰り返す、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

工程 (c) の結果物を蒸留し、トランス - 1, 3, 3, 3 - テトラフルオロプロペンを弗化水素とシス - 1, 3, 3, 3 - テトラフルオロプロペンと 1, 1, 1, 3, 3 - ペンタフルオロプロパンの 1 種以上を含む留出液および残留物として回収することにより工程 (d) を行う、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

弗化水素を前記残留物から除去する後続工程を更に含む、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

シス - 1, 3, 3, 3 - テトラフルオロプロペンと 1, 1, 1, 3, 3 - ペンタフルオロプロパンの少なくとも 1 種を前記残留物から回収する後続工程と、前記回収されたシス - 1, 3, 3, 3 - テトラフルオロプロペンと 1, 1, 1, 3, 3 - ペンタフルオロプロパンの少なくとも 1 種を工程 (a) に再循環して戻す後続工程とを更に含む、請求項 9 に記載の方法。